

夢と希望を地域から!!

7月26日樺細工伝承館にて、NPO法人秋田ふくしハートネットが主催する「障がい者生き生き事業・元気になる講演会」が開催されました。

昨年に続き今回が2回目の事業で、講師には自ら障がいを持ちながら活躍されている安積遊歩先生を迎え、自身のこれまでの体験を通したお話をいただきました。



講演会には100人余りの方が訪れ貴重なお話に耳を傾けていました。

障がいを持つ人も持たない人も、住み慣れた地域で共に暮らせるように、たくさんのチャレンジと出会いの機会を持てるよう、夢と希望を地域から発信していきたいものです。



障がいを持つ人も持たない人も、住み慣れた地域で共に暮らせるように、たくさんのチャレンジと出会いの機会を持てるよう、夢と希望を地域から発信していきたいものです。

戦没者のご冥福を祈り 仙北市戦没者追悼式

戦没者をしのぶ仙北市戦没者追悼式が、8月7日、角館交流センターで行われ、遺族や関係者など約130人が参列しました。

戦没者に黙とうを捧げた後、石黒市長が「戦争を知らない世代が年々多くなっている今日、平和と繁栄を享受できますことは、尊い犠牲の上におかれたものと認識し、繰り返してはならない歴史的事実として、引き継いでいかなければならない。世界各地では、今なお紛争やテロ行為が繰り返されており、いたましい犠牲者が出ていると報じられています。この追悼式に込められた私たちの思いが、戦火の耐えない世界へ届くことを期待してやみません。郷土の新しい時代を担う子供たちの健全な育成や市民一人ひとりが夢と希望を持ち、豊かで幸せな暮らしが出来るよう、各種施策に取り組むことを誓い、ここに御霊のご冥福をお祈りし、また、ご遺族の皆さま方のご多幸を心より念じます」と式辞を述べました。引き続き、参列者が献花台に花を供え、戦没者のご冥福を祈りました。



おめでとうございます 白寿(99歳)のお祝い

8月1日に田沢湖瀉字蛭児堂の千葉タキエさんが、8月6日に田沢湖瀉字ヨテコ沢の三浦マサヨさんが99歳の白寿を迎えられ、仙北市からそれぞれにお祝いと花束が贈呈されました。



千葉タキエさん



三浦マサヨさん

北都銀行職員組合が車イスを寄贈

7月25日、北都銀行職員組合田沢湖分会(御代俊栄分会長)から、たざわこ清眺苑に車イス2台が寄贈されました。

北都銀行職員組合では、地域の社会福祉に貢献するために、施設等へ寄付などを毎年行っています。

清眺苑では「入所者の皆さんのために大切にに使わせていただきます」と話しておりました。

